



令和7年4月開校

(仮称) 和泉市立

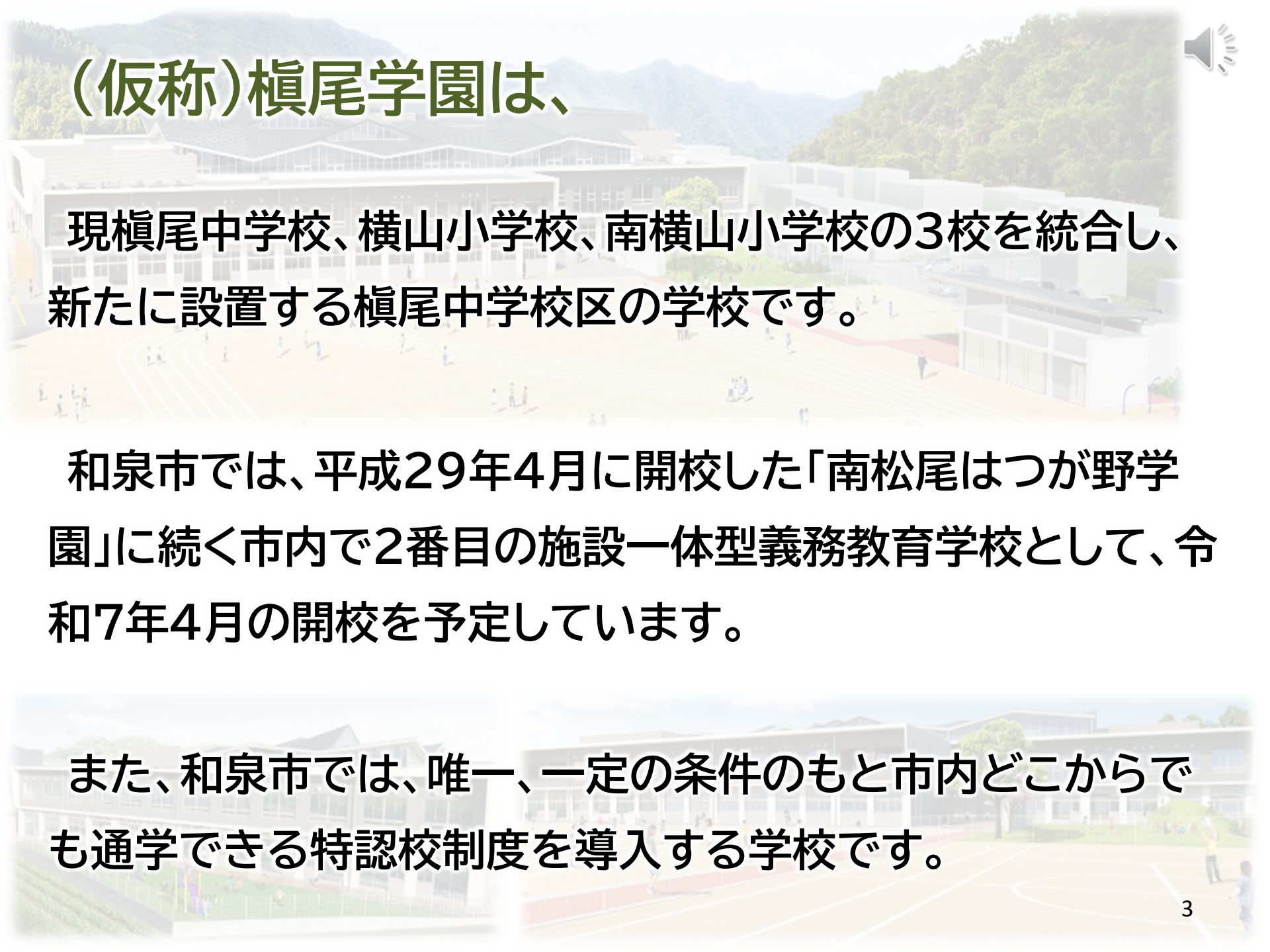
榎尾学園



令和6年8月



学園の概要



(仮称)榎尾学園は、

現榎尾中学校、横山小学校、南横山小学校の3校を統合し、新たに設置する榎尾中学校区の学校です。

和泉市では、平成29年4月に開校した「南松尾はつが野学園」に続く市内で2番目の施設一体型義務教育学校として、令和7年4月の開校を予定しています。

また、和泉市では、唯一、一定の条件のもと市内どこからでも通学できる特認校制度を導入する学校です。



施設一体型義務教育学校とは

義務教育9年間を見通した1年生から9年生の学校です。
1年生入学時に入学式、9年生卒業時に卒業式となります。
(7年生進級時に前期課程修了式、立志式を行います。)

義務教育課程を一貫した柔軟なカリキュラム
編成のなか、学校教育制度の多様化や弾力化
に対応します。



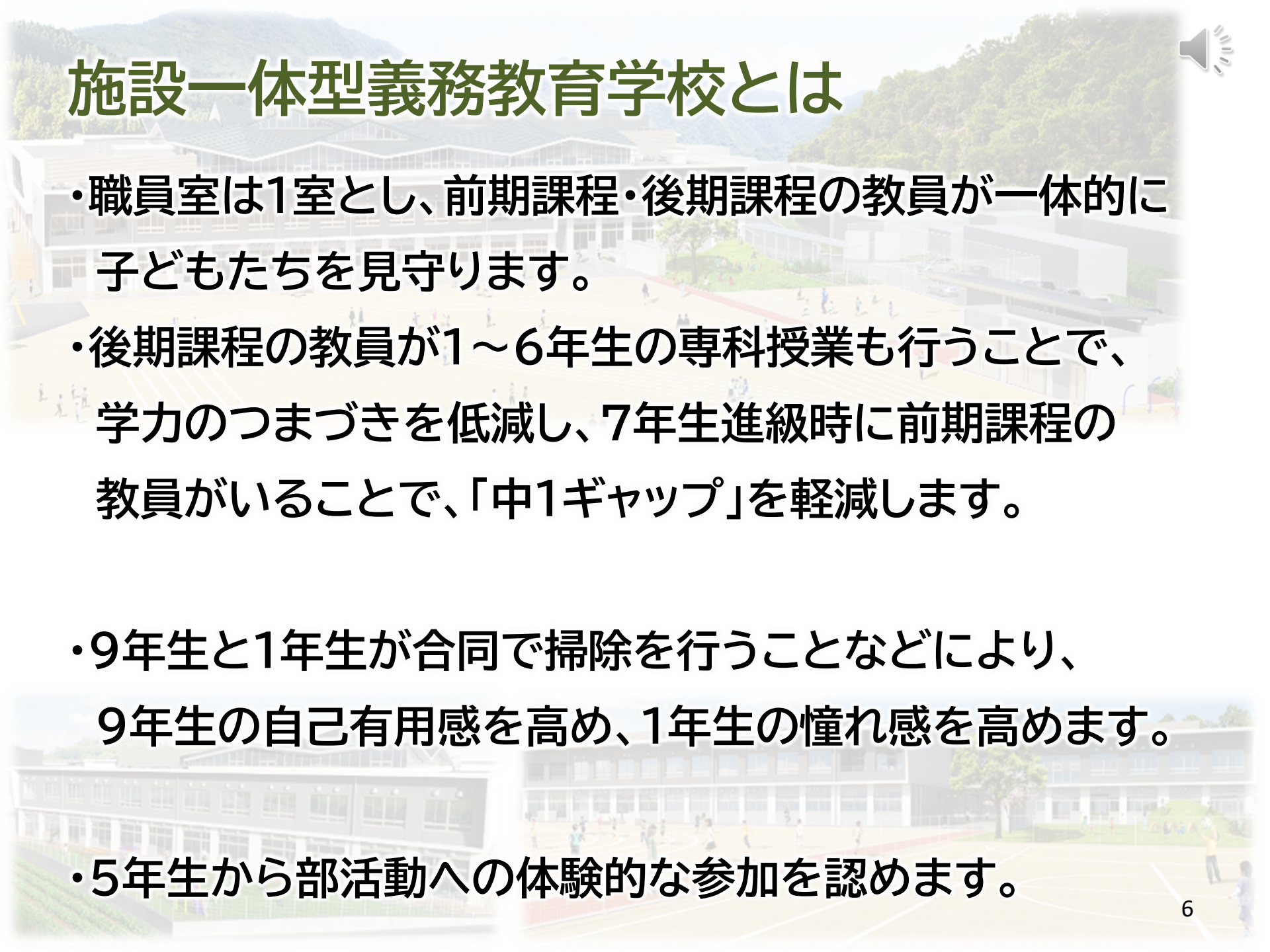
前期課程				後期課程				
ファーストステージ				セカンドステージ			ファイナルステージ	
1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年
○学級担任を中心とした学習 ○基礎・基本の定着 ○学習習慣の定着				○一部教科担任制からなだらかに教科担任制(後期課程へ移行) ○基礎・基本の徹底と応用力			○専門的な学習の充実 ○確かな進路選択の保障	

施設一体型義務教育学校とは



学校管理職の体制は、校長、副校長、前期課程担当教頭、後期課程担当教頭となり、一体的に子どもたちを見守ります。

教員の配置については、学級数に応じて国から配置される他、特認校として南横山小学校で実施されている少人数学級編制を継承したうえで、クラス替えの環境も確保できるよう、市独自基準による教員配置も行います。



施設一体型義務教育学校とは

- ・職員室は1室とし、前期課程・後期課程の教員が一体的に子どもたちを見守ります。
- ・後期課程の教員が1～6年生の専科授業も行うことで、学力のつまづきを低減し、7年生進級時に前期課程の教員がいることで、「中1ギャップ」を軽減します。
- ・9年生と1年生が合同で掃除を行うことなどにより、9年生の自己有用感を高め、1年生の憧れ感を高めます。
- ・5年生から部活動への体験的な参加を認めます。

時程について

授業時間が、前期課程45分、後期課程50分となるため、休み時間を調整(前期課程は15分、後期課程は10分)し、常に授業の開始時刻を揃えます。

(授業開始のチャイムはありますが、終了のチャイムはありません。)

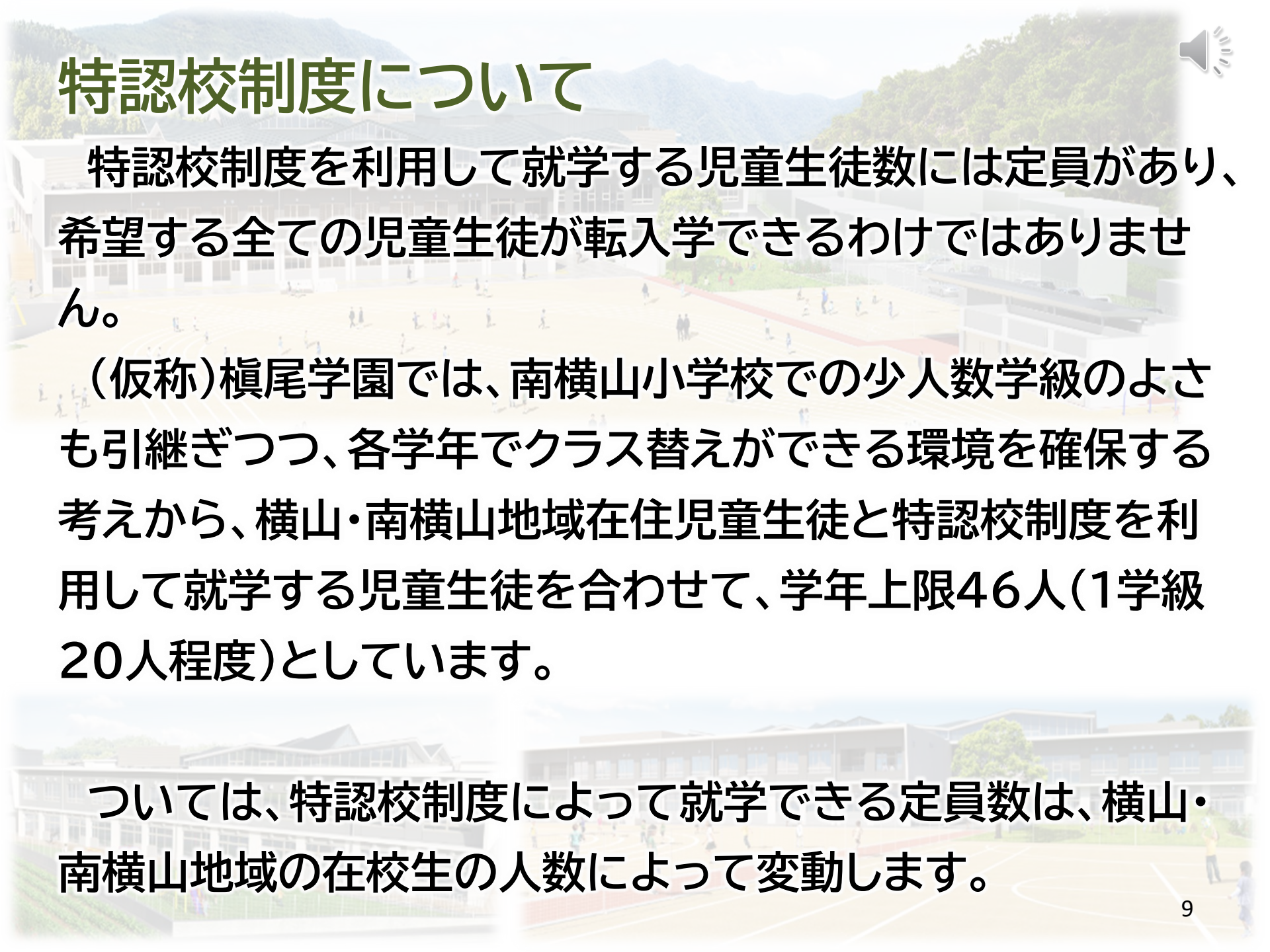
	前期課程	後期課程
登校	8:25	
朝の時間	8:30~8:45	
1時間目	8:45~9:30	8:45~9:35
2時間目	9:45~10:30	9:45~10:35
3時間目	10:45~11:30	10:45~11:35
4時間目	11:45~12:30	11:45~12:35
給食	12:30~13:10	12:35~13:10
昼休み	13:10~13:30	
清掃	13:30~13:40	
5時間目	13:45~14:30	13:45~14:35
6時間目	14:45~15:30	14:45~15:35
終わりの会	15:30~15:40	15:35~15:45
下校	16:00	

特認校制度について



(仮称)榎尾学園は、横山、南横山における豊かな自然環境のもと、特色ある教育環境の中で、子どもを学ばせたい、学びたいという保護者や児童生徒に、一定の条件のもと、特別に他の校区からの入学・転学を認めるもので、現在の南横山小学校で適用している制度を新しい学校にも適用するものです。

就学区域に関する制度であり、特別な配慮がある等の意味合いではないことにご留意ください。



特認校制度について

特認校制度を利用して就学する児童生徒数には定員があり、希望する全ての児童生徒が転入学できるわけではありません。

(仮称)榎尾学園では、南横山小学校での少人数学級のよさも引継ぎつつ、各学年でクラス替えができる環境を確保する考えから、横山・南横山地域在住児童生徒と特認校制度を利用して就学する児童生徒を合わせて、学年上限46人(1学級20人程度)としています。

については、特認校制度によって就学できる定員数は、横山・南横山地域の在校生の人数によって変動します。

特認校制度について

令和7年度向けの特認校制度にて就学を希望する児童生徒の受け入れは既に行っているところで、新1年生、2年生などは定員に達している状況です。

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年
学年定員	46	46	46	46	46	46	46	46	46
槇尾学園 募集人数	29	7	16	7	4	7	6	10	13
R6 南横山 募集人数	—	17	1	8	—	8	—	—	—
槇尾学園 応募(1期)	49	18	6	2	3	2	8	3	0
槇尾学園 応募(2期)			2			4		1	
募集残	0	0	12	13	0	6	0	4	13

未来を切り拓く力



(仮称)榎尾学園のめざす子ども像

学び続ける人

認め合いつながる人

自ら行動できる人



授業などについて



授業は、**小学校学習指導要領及び中学校学習指導要領に基づくもので、授業の先取りなどは基本的になく、他の学校と同様です。**

ただし、これまでの南横山小学校における自然環境を活かした教育や少人数指導といった教育の継承に加えて、横山小学校区の地域資源を活用した学習など、新たな視点でも取組みを進めます！



独自の少人数学級

1学級20人程度



独自教科「槇尾学」

地域を教材に

「知る」、「学ぶ」、「気づく」、
「創造・発信する」



見て、ふれて、感じて
自然に学ぶ！



Let's have fun!
コミュニケーションを
通した英語学習



ALTとの
コミュニケーションを
充実

学習モデルパイロット校として
将来に向けた新しい学びにチャレンジ！





将来の可能性に挑戦！

「切り拓く力」の育成 「個性」を磨き、磨きあう

(仮称)榎尾学園独自の学習環境

■ 独自の就学定員 1学級20人程度での学習・学級活動

- ・一人ひとりの主体性を活かした学習ときめ細やかな対応
- ・学習内容によって柔軟に学年合同授業などを実施
- ・クラス替えが可能な、各学年2クラスを想定





■ 独自教科「榎尾学」として、地域を教材とした授業を展開

- ・地域の歴史・文化・産業・観光などの調べ学習や地域交流（ふれあい交流、農作業・林業体験、聞きとり学習など）、文化継承（炭焼きなど）を通して魅力、課題を体感、分析
- ・例えば…持続可能なまちづくりを提案・発信 ※主体的に課題を設定
- ・協働的に課題に取り組む態度、情報活用力などを育成します。



知る・ふれる

学ぶ

気づく

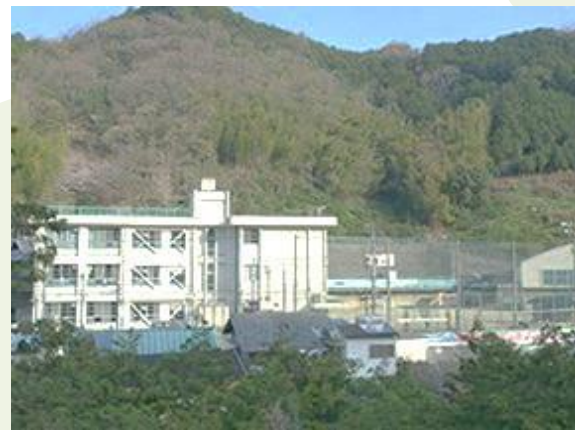
創造・発信



「榎尾学」 町、自然 全てが学び場 “ 榎尾学園 学習フィールド ”

■ 南横山小学校での学習活動！

- ・低学年を中心に、学校林や父鬼川、自然に触れながら情操を育みます。
- ・炭焼き体験や地域の伝統など他にはない学びと体験があります。



■ 多様な地域教育資源！

- ・関西トランスウェイスportsスタジアム、道の駅 いずみ山愛の里、南部リージョンセンター、和泉市アグリセンター、和泉市立青少年の家、榎尾山（グリーンランド、施福寺）、榎尾川（父鬼川）、社寺、各地元産業・事業者など
- ・地域教育資源、地域人材との連携により、他にはない学習活動を継承・展開します。





■ 南横山小学校での学習活動！

南横山小学校周辺の豊かな自然環境に囲まれた特長を活用します。

(現南横山小学校校舎・体育館を (仮称)榎尾学園のサテライト校舎・施設として活用 移動用のバスを別途確保)

年間40日(週に1回)程度、いずれかの学年が南横山小学校を訪問し、豊かな自然環境の中で体験的な活動を実施する予定です。

(活動例)春みつけ、秋みつけ、自然体験、植物の観察、
川遊び、炭焼き、ノーカバンデーなど

※主に低学年での自然体験学習などの利用割合を高くし、
自然に触れて、情操を高める教育を展開予定。

■ コミュニケーションに重点をおいた英語学習



- ・文部科学省認可の授業時数特例校として
他校より外国語活動・英語の授業を多めに設定し、充実させます。
- ・1年生から系統的な英語カリキュラムを実施し、ネイティブのALTとの日常的なコミュニケーションで「使える英語」を身につけます。





■ その他にも…

学習モデルのパイロット校として



■ 先進的な学習環境を活かし、積極的に新しい学びにチャレンジ！

教科横断的に言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力を育成します。
槇尾学や英語教育など特色ある教育活動を活かし、教科横断型学習や大学・企業等と連携したPBL（課題解決型学習）、探究学習などの学習モデルに積極的に取り組みます。

1年生から9年生までの多様な「たてわり活動」

頼れる安心、頼られる喜び ～みんながリーダーに！～
様々な異学年交流を通して、コミュニケーション力を高め、人間関係が広がります。





給食について



給食について

学園内の給食室で調理を行う「自校調理方式」により、
安心・安全で温かい、「おいしい給食」を提供します。

(仮称)榎尾学園の給食室は・・・

- 施設・設備はドライシステムを採用！！

床に水が落ちない構造の施設・設備、機械・器具
を使用し、床が乾いた状態で作業することで、
給食室の衛生状態が向上。





給食について

(仮称)榎尾学園の給食室は・・・

- スチームコンベクションオーブンを導入！！



スチーム発生装置をオーブンに取り付けた器機で、熱と蒸気をコントロールして、蒸し料理や焼き料理など複数の調理方法が可能です。食材の栄養素やうまみを逃さず、食材本来のおいしさを味わうことができます。

- 調理業務委託を導入し、栄養教諭が作成した共通の献立に基づき、学校又は市が調達した食材を用いて、安心・安全で温かい給食を提供します。





制服等について

■ (仮称)榎尾学園は、前期課程、後期課程とも制服を導入

- ・新制服は令和5年度より販売開始しています。
- ・令和9年度までは、現在の制服を継続して着用することもできます。



前期課程



後期課程



体操服などの授業を行う上で必要な学用品については、榎尾中学校、横山小学校、南横山小学校より別途案内があります。

現在、使用しているものを(仮称)榎尾学園でも継続して使用する場合があるので、学校だより・学年だより等を継続してご確認ください。



校章について



令和4年度の榎尾中学校、横山小学校、南横山小学校の児童生徒がデザイン案を作成し、アンケートの結果決定しました。

榎尾中学校、横山小学校、南横山小学校の校章をモチーフに、各校の校章にある「**横山**小学校の**桜**」、「**南横山**小学校の**山**」、「**榎尾**中学校の**みかんの葉**」を取り入れ、全体のバランスをとるように(仮称)榎尾学園の「榎」を真ん中に置いたデザインとなっています。





校歌について



和泉市ゆかりのある元教員により作曲済み。

現在、その曲に合わせて、槇尾中学校の生徒及び横山小学校、南横山小学校の児童から募集した言葉やフレーズをもとに、こちらも和泉市ゆかりのある元教員が作詞を行っています。

(児童生徒から多く集まった言葉)

「槇尾」、「未来」、「夢」、「心」、「みんな」、「力」、「平和」など

令和7年4月の入学式・立志式、始業式で披露する予定です。



コミュニティ・スクール について



■ コミュニティ・スクールについて

学校と保護者及び地域住民等との信頼関係を深め、一体となって「地域とともにある学校づくり」を推進するために、令和6年度より槇尾中学校区の3校を1つのコミュニティ・スクールとして実施しています。

めざす子ども像の実現のため、地域の力を学校教育活動にどう生かしていくのかを熟議・検討します。

(検討内容の例)学校運営方針について

めざす子ども像に実現に向けて

(仮)槇尾学園サポートネットについて など



学校運営協議会 <合議体>

※合議体・・・複数の構成員の合議によってその意思を決定する組織体

コミュニティ・スクール
(学校運営協議会を設置した学校)



学校運営協議会

校長

**市区町村
教育委員会**

協議会の設置
委員の任命
協議会の適正
な運営を確保
する措置

学校運営に
関する意見

説明

承認

説明

意見

学校運営の
基本方針

学校運営・
教育活動

教職員の任用
に関する意見

委員：保護者代表、地域住民
地域学校協働活動推進員など

協議の結果に係る
情報提供の努力義務

情報提供・協議を
踏まえた支援活動

保護者・地域住民等



**都道府県
教育委員会**

教職員の任用
学校運営協議会
の意見を尊重

学校協議員

※合議体ではない

学校

学校協議員

協議員：職員以外の者



校長



校長の求め
に応じて

学校運営に
関する意見



和泉市教育委員会

協議員の委嘱
校長の推薦

保護者や地域の方々が一定の権限をもって学校運営に参画することにより、「目標やビジョン」を共有して、社会総がかりで子どもたちの健全育成や学校運営の改善に取り組むことを目的

校長が、必要に応じて学校運営に関して、保護者や地域の方々の意見を聞くことを目的



学校・保護者・地域・社会
子どもに関わるすべての力を合わせて児童・生徒を育む（仮称）榎尾学園！

学校



社会



児童・生徒

地域



保護者





放課後活動について (部活動)



■ 部活動について

- ・これまでの学校、教職員のみによる運営から学校、家庭、地域、各種団体などの協働・連携型の運営体制を整備します。

（仮）榎尾学園サポートネット（榎サポ）を設置

- ◎教育課程内外問わず、学校教育活動全般をサポートしていただける人材（保護者、地域人材、各種団体など）で構成。
- ◎登録メンバーがサポートや指導可能な内容、日時等とマッチすれば部活動支援員登録し、部活動の指導者としても登用。



■ 部活動について

教員、榎サポにより、多種多様な競技や内容に対応できるように以下の部活動を新設します。

- ・総合スポーツ部
- ・総合文化活動部

榎サポとのマッチングにより、活動内容の充実を図っていきます。

現在、榎尾中学校の生徒が所属している部活動について

- ・バスケットボール部、女子バレーボール部は、団体種目部活動として来年度も継続します。
- ・陸上部、卓球部は、総合スポーツ部(体育系部活動)として継続します。
- ・美術部は、総合文化活動部(文科系部活動)として継続します。

(現在活動中の音楽部は、3年生引退後休部とし、次年度募集は実施しません。) 37



■ 部活動について

【前期課程(5年生、6年生)の部活動参加】

前期課程児童の部活動参加については、前期課程の「クラブ活動」から「部活動」への段差のない接続をめざします。

- ・前期課程(5年生、6年生)の「クラブ活動」の日を、後期課程は5時間授業とし、部活動に「クラブ活動」として参加可能とします。
- ・競技の特性や活動内容を踏まえ、受け入れ可能な部活動のみ5年生からの部活動参加を可能とします。



放課後活動について (留守家庭児童会)



■ 留守家庭児童会とは

- ・和泉市では、学童保育のことを「留守家庭児童会」又は「仲よしクラブ」と呼んでいます。

(仮称)榎尾学園での留守家庭児童会の開設

- ・これまでは、横山小学校のみで開設していましたが、
(仮称)榎尾学園の開校後は、
横山小学校区、南横山小学校区、特認児童の全てを対象に
開設します。



■ (仮称)榎尾学園留守家庭児童会について

開設場所:

1階の専用教室を利用

運営:

民間業者に委託予定





■ 留守家庭児童会の開設時間等

開設時間

- ・平日 : 放課後～午後7時
- ・土曜日、春・夏・冬休み、学校の代休日 : 午前8時～午後7時

休会日

- ・日曜日、祝日、12/29～翌年1/3

※午後5時以降に退室する場合は保護者のお迎えが必要。

(11月～1月は午後4時45分以降)

※通学バス利用児童は、16時頃までに出発の通学バスを利用しない場合、保護者のお迎えが必要です。



■ 留守家庭児童会の保護者負担金について

	金額	備考
負担金	5,500円/月	・同一世帯において2名以上の児童が利用する場合、2人目以降は半額(2,750円)。
延長負担金	1,500円/月	・午後6時以降の保育を利用した場合必要
諸費	1,500円/月	・各クラブで提供するおやつ、教材費等。
保険代	800円/年度	

※負担金・延長負担金については、減免制度があります。



放課後活動について (アフタースクール)



■ アフタースクールについて

令和7年度時点においては、「放課後の過ごし方の充実に関するアンケート」において肯定的な意見を多くいただいた『放課後の学習に、英語など語学を学べる機会があるいい。』をもとに**英会話プログラム**を導入予定です。

- ・放課後に下校せずにそのまま学校の施設を使って、**有償**の英会話プログラムを実施します。
- ・英会話プログラム実施後もバスを利用して下校することが可能です。
- ・部活動の活動日と英会話プログラム実施日が重なった場合には、部活動を一度抜けて、参加し、また部活動に戻ることもできます。



■ アフタースクール(英会話プログラム)について

- ・5月から2月末の期間で原則週1回(年間35回)実施します。
※ただし、長期休暇中(夏休み、冬休み)は実施しません。
- ・実施曜日、時間は基本的に固定します。(○曜日の○時から)
- ・1回50分程度のプログラムです。
- ・前期課程1クラス、後期課程1クラスです。
- ・1回の講義に対して、2名の講師を配置し指導を行います。
- ・1クラスの定員は20人です。

(1クラスを10人ずつに分け、少人数指導を実施する場合があります。)

費用等、詳細は、事業者決定後にお知らせし、
受講希望者を対象とした説明会を実施します。



通学について (特認児童・生徒)



■ 特認校制度を利用する児童・生徒の通学について

前期課程(1～6年)	① 特認対象の専用バス ② 自家用車による送迎等
後期課程(7～9年)	① 特認対象の専用バス ② 自家用車による送迎等 ③ 自転車通学

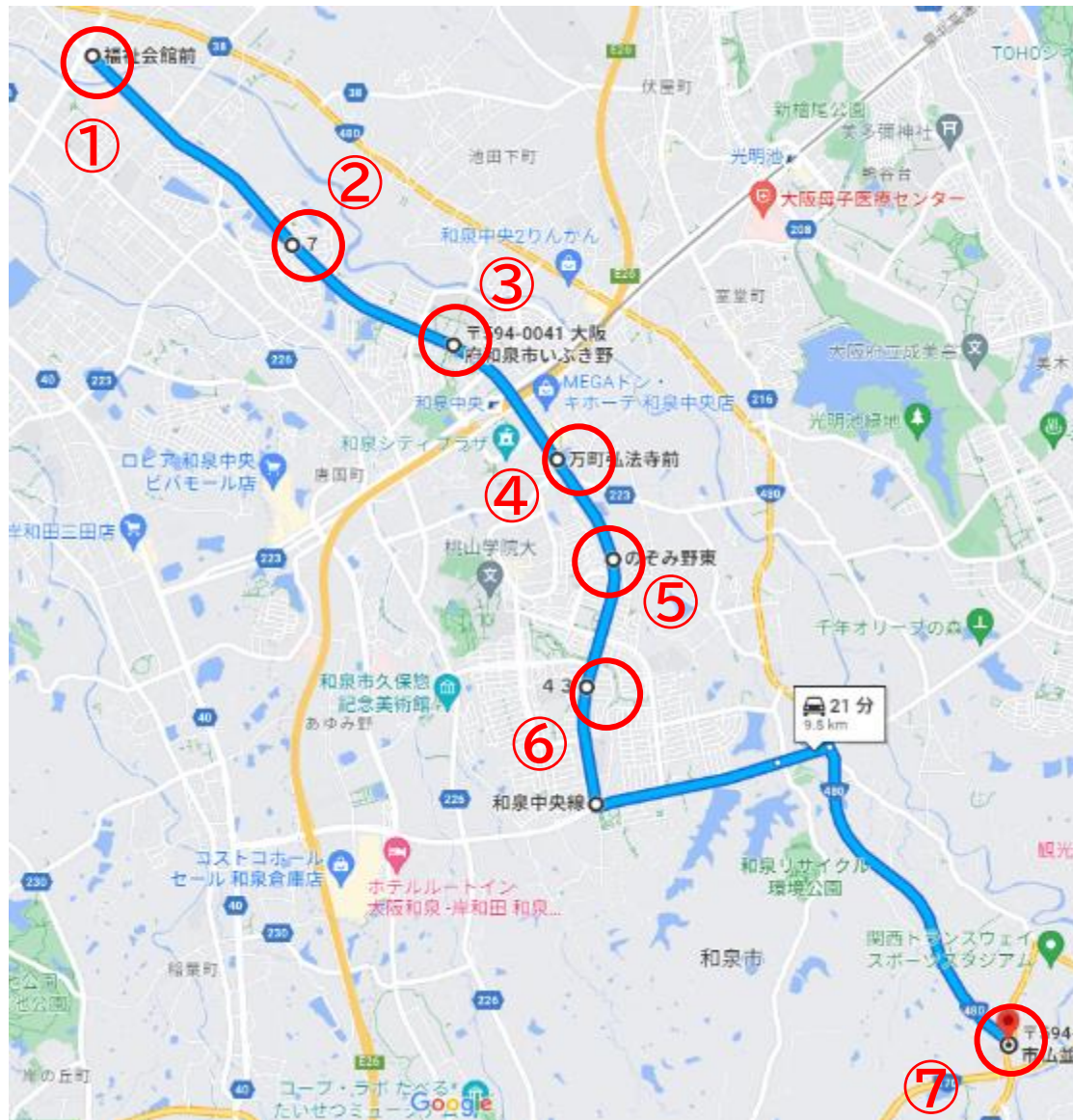


■ 特認バスの運行形態、利用料金等について

運行形態	・民間バス事業者への委託 (今後事業者選定手続き予定)
運行ルート	・府中・和泉中央ルート ・信太・伏屋・光明台ルート
便数	・登校便は1便、下校便は最大4便を予定
利用料金	・前期課程 年間 75,000円 ・後期課程 年間120,000円



特認運行ルート①(府中・和泉中央ルート)



【停車場所(予定)】

①福祉会館前

②弥生自治会館

③いぶき野3丁目

④万町・弘法寺

⑤のぞみ野東

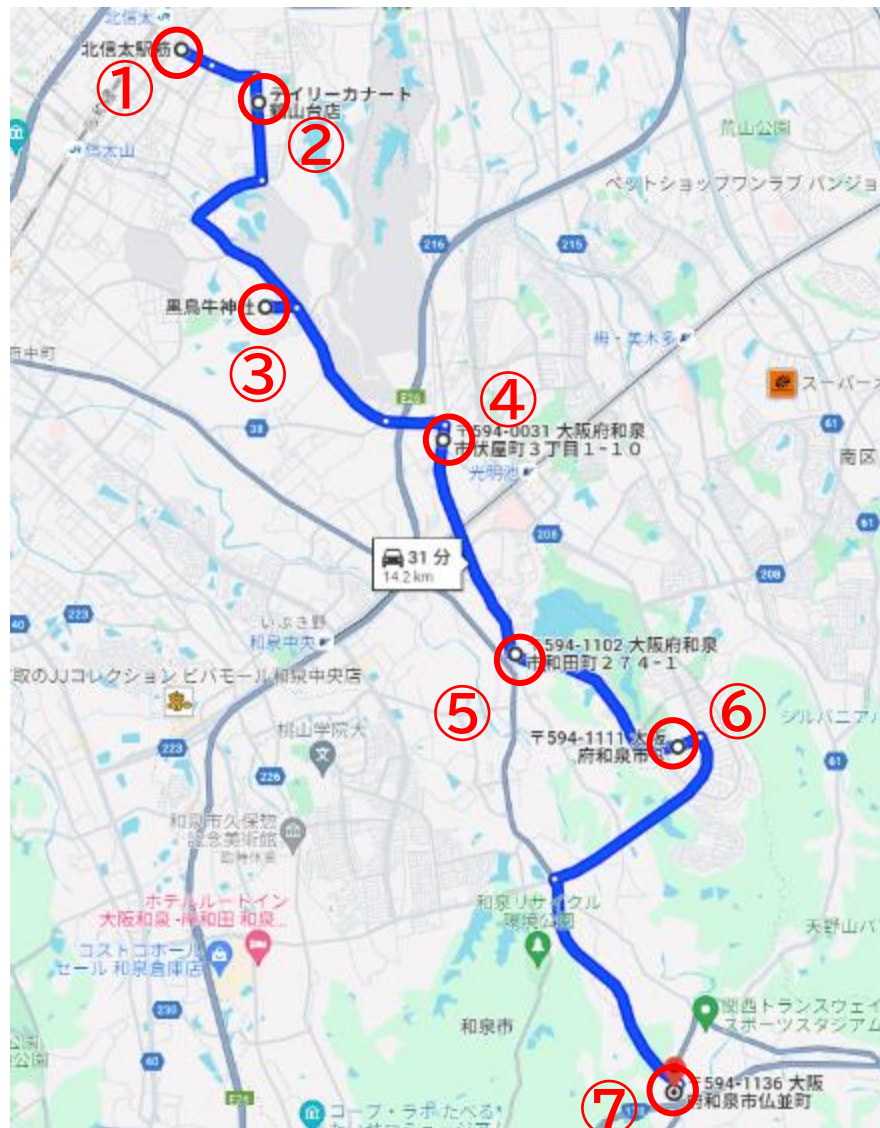
⑥はつが野2丁目

⑦(仮称)槇尾学園

※下校時は⑦→①



特認運行ルート②(信太・伏屋・光明台ルート)



【停車場所(予定)】

- ①北信太駅筋
 - ②鶴山台センター
 - ③黒鳥牛神社
 - ④伏屋
 - ⑤公団西口
 - ⑥光明台センター
 - ⑦(仮称)槇尾学園
- ※下校時は⑦→①

通学について(特認児童・生徒)



【特認バス運行イメージ】

原則、平日(月～金)のみ

※ただし、土日の参観等学校行事は運行。

その他、学校行事等に応じて随時運行予定。

※長期休業中の平日の留守家庭児童会の開会日は運行。

【運行時刻】(例) ※公共バス等との調整により多少の変動の可能性有

	登校便	下校第1便 (4時間対応)	下校第2便 (5時間対応)	下校第3便 (6時間対応)	下校第4便 (部活動対応)
時刻	(ルート①始点) 7:30発 (ルート②始点) 7:25発 (ルート①) 8:00着 (ルート②) 8:05着	13:30発	14:50発	16:10発	冬季17:40発 夏季18:10発

下校便は、学校行事に合わせ、上記の表以外の時間になる場合があります。

- ## 来客用駐車場





自転車通学について(後期課程(7～9年生対象))

榎尾学園より2km以上の通学距離の生徒

【駐車スペース】

東門(正門)付近に生徒用駐輪場を確保

【自転車通学のルール】

- ・学校へ利用申請を提出
- ・ヘルメット着用、自転車保険への加入
- ・自転車に鑑札シールを貼付
- ・傘をさしての乗車は禁止
(雨天時は、雨ガッパ等を着用)



生徒用駐輪場



通学について (南横山地区)



■ 南横山地区における児童・生徒の通学について

前期課程(1～6年)	① 地元通学専用バス
後期課程(7～9年)	① 自転車通学 ② 南海バス(定期利用補助あり)



■ 南横山地区バスの運行形態、利用料金等について

運行形態	・民間バス事業者への委託 (今後事業者選定手続き予定)
運行ルート	・1ルートのみ
便数	・登校便は1便、下校便は最大4便を予定
利用料金	・保護者負担なし
その他	・横山地区の通学バスとの兼用 (運行概要も同様) ・時期により運行の順番は変更予定。 ※パターン1 横山→学園→南横山→学園 パターン2 南横山→学園→横山→学園

■ 自転車通学、車での送迎は、特認児童生徒と同様



運行ルート(父鬼・大野ルート)

【停車場所の想定】

- ① バイク休憩所
- ② 駐在所前
- ③ 父鬼町内会館前
- ④ 南横山小学校前
- ⑤ あみだ寺前
- ⑥ (仮称)榎尾学園

※下校時は⑥→①

通学について(南横山地区)



【南横山地区運行イメージ】

原則、平日(月～金)のみ

※ただし、土日の参観等学校行事は運行。

その他、学校行事等に応じて随時運行予定。

※長期休業中の平日の留守家庭児童会の開会日は運行。

下校便は学校行事に合わせ、下記の表以外の時間になる場合があります。

【運行時刻】(例) ※公共バス等との調整により多少の変動の可能性有

4～9月 (横山→南横山)	登校便	下校第1便 (4時間対応)	下校第2便 (5時間対応)	下校第3便 (6時間対応)	下校第4便 (部活動対応)
時刻	(始点)7:55発 8:10着	13:55発	15:05発	16:20発	冬季17:55発 夏季18:25発

10～3月 (南横山→横山)	登校便	下校第1便 (4時間対応)	下校第2便 (5時間対応)	下校第3便 (6時間対応)	下校第4便 (部活動対応)
時刻	(始点)7:35発 7:50着	13:35発	14:45発	16:00発	冬季17:35発 夏季18:05発



通学について (横山地区)



■ 横山地区における児童・生徒の通学について

前期課程(1～6年)	① 徒歩通学 (2km以内)	坪井町・小野田町・ 下宮町・仏並町・大畑町 北田中町・岡町・国分町
	② 地元通学 専用バス	善正町・福瀬町・ 南面利町
	③ デマンドバス	九鬼町・小川町
後期課程(7～9年)	① 徒歩通学 ② 自転車通学	



■ 横山地区バスの運行形態、利用料金等について

運行形態	・民間バス事業者への委託 (今後事業者選定手続き予定)
運行ルート	・1ルートのみ
便数	・登校便は1便、下校便は最大4便を予定
利用料金	・保護者負担なし
その他	・南横山地区の通学バスとの兼用 (運行概要も同様) ・時期により運行の順番は変更予定。 ※パターン1 横山→学園→南横山→学園 パターン2 南横山→学園→横山→学園

■ 自転車通学は、特認と同様。



運行ルート (南面利・善正ルート)

【停車場所の想定】

①東南面利

②南面利

③善正

④福瀬新田

⑤福瀬戎

⑥(仮称)榎尾学園

※下校時は⑥→①



通学について(横山地区)



【横山地区運行イメージ】

原則、平日(月～金)のみ

※ただし、土日の参観等学校行事は運行。

その他、学校行事等に応じて随時運行予定。

※長期休業中の平日の留守家庭児童会の開会日は運行。

下校便は、学校行事に合わせ、下記の表以外の時間になる場合があります。

【運行時刻】(例) ※公共バス等との調整により多少の変動の可能性有

4～9月 (横山→南横山)	登校便	下校第1便 (4時間対応)	下校第2便 (5時間対応)	下校第3便 (6時間対応)	下校第4便 (部活動対応)
時刻	(始点)7:25発 7:40着	13:35発	14:45発	16:00発	冬季17:35発 夏季18:05発

10～3月 (南横山→横山)	登校便	下校第1便 (4時間対応)	下校第2便 (5時間対応)	下校第3便 (6時間対応)	下校第4便 (部活動対応)
時刻	(始点)8:00発 8:10着	14:05発	15:15発	16:30発	冬季18:05発 夏季18:35発



■ 「チョイソコいずみ」(デマンドバス)の運賃補助について

利用対象	原則、通学距離が2km以上となる 九鬼町の前期課程児童 小川町の前期課程児童
利用料金	保護者負担なし
運用形態	今後、近くの停留所・帰る時間の予約等の詳細について調整予定。

通学について(横山地区)



※目安のルート

榎尾中学校前

九鬼町民会館

小川町会公民館



停留所マップ



最新の南海バス
時刻・運賃・経路の
検索はこちらから



横山地区前期課程の徒歩通学は3コースの通学路を設定

【青コース】

北田中町

下宮町

国分町

国道170号
横断

青コース

青②

青①

【赤コース】

岡町

小野田町

北田中町

歩道橋

赤コース

赤②

赤①

【緑コース】

小野田町・坪井町

仏並町

緑コース

緑②

緑③

緑④





開校に向けた国道170号の横断安全対策について

ボラード (イメージ)

対策①

- ボラード(車止め)の設置
【鳳土木事務所等と協議中】
【障がい者団体と調整】



対策②

- 児童が安全に信号待ちできる待機場所の増設
【鳳土木事務所等と協議中】

対策③

- 有資格者の誘導員を配置
→令和7年4月から3～5年間を目途に配置
その後の配置は、当該交差点における交通事故
件数等を踏まえて再検討

対策④

- 防犯カメラの増設
→槇尾中学校南交差点周辺の通学路において、
地域の意見・要望を確認のうえ、防犯カメラを増設

要請

- 近隣の駐在所(仏並・北田中・南横山)勤務員に
よる登下校時の見守り
【和泉警察署と協議中】



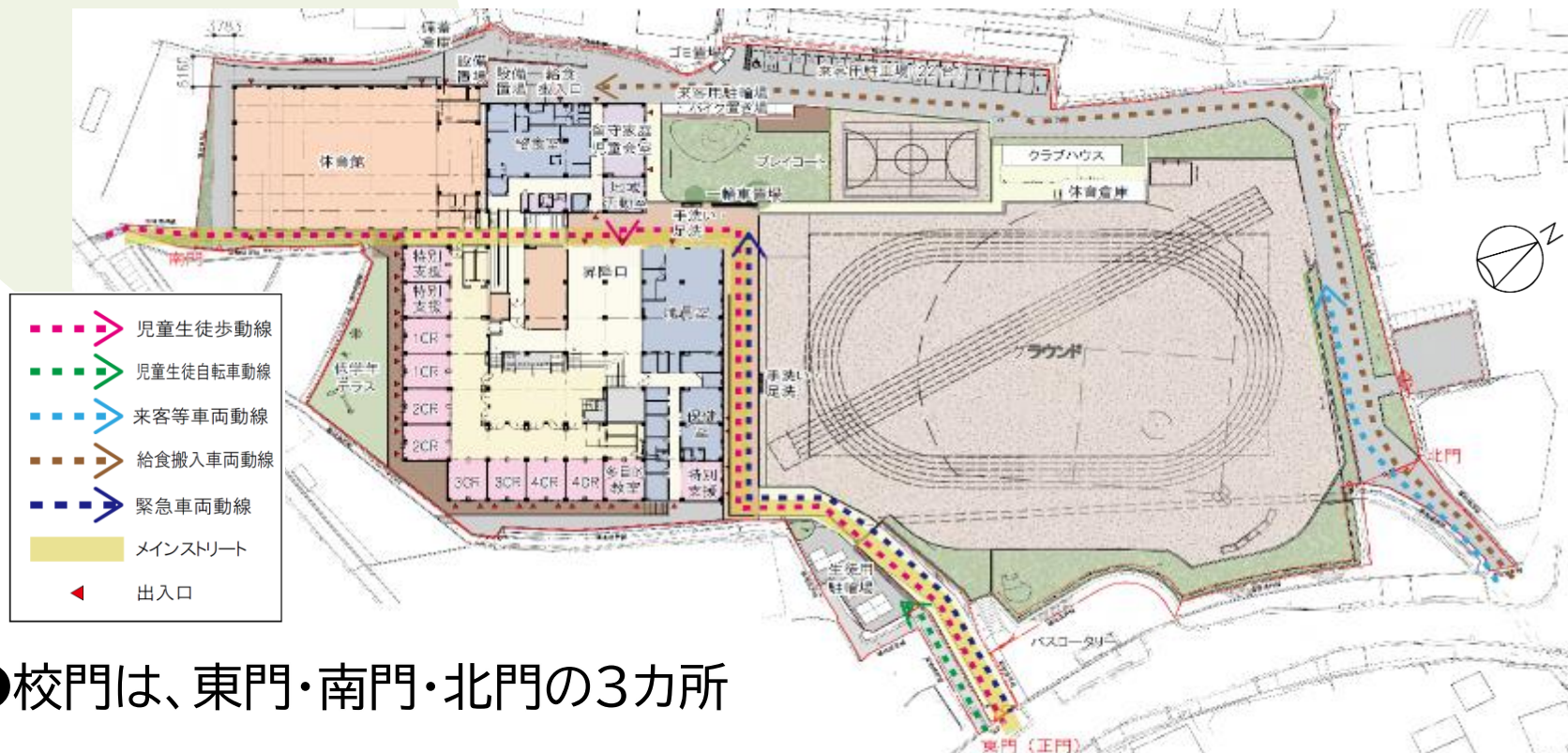
※更なる交差点の安全性向上に向けた
対策の検討は継続



新校舎について



全体配置計画



- 校門は、東門・南門・北門の3カ所
- 児童生徒は東門、車両は北門とし、動線を分離（来客等駐車場 約20台）
- 200mトラックを確保したグラウンドの整備
- グラウンドの西側にプレイコートを整備（芝生広場、球技が出来るエリア）
- 校舎南側屋外に複合遊具を備えた低学年テラスを整備（上靴で利用可） 70



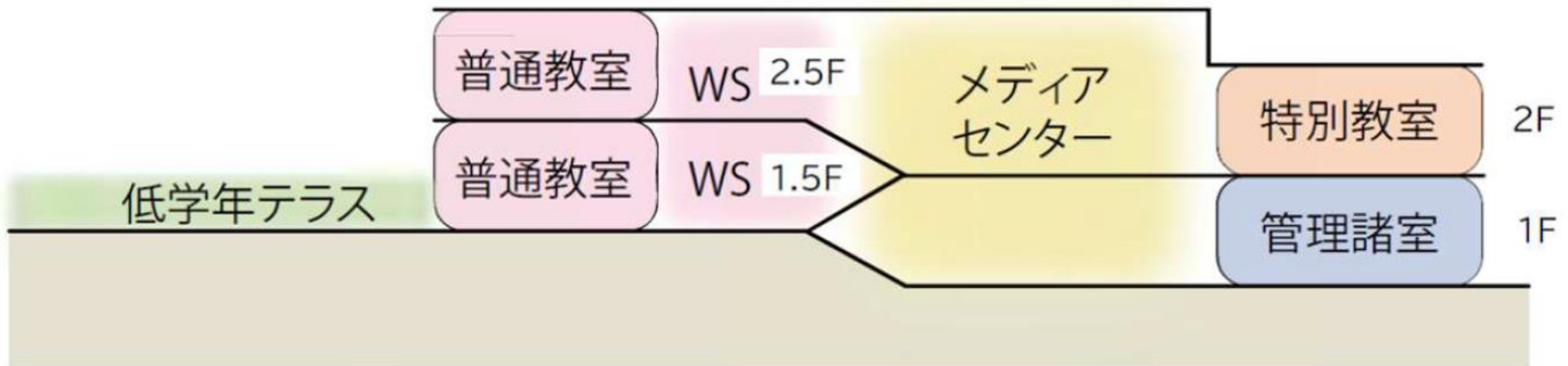
■ 新校舎レイアウト

建物としては、2階建校舎であるが、約2mの敷地の高低差を利用し、各階が半階ずれたスキップフロアを採用。

1階、1.5階、2階、2.5階の構成で、それぞれの階へのアクセスが半階となる。

南（国道170号側）

北（運動場側）





■ 新校舎レイアウト

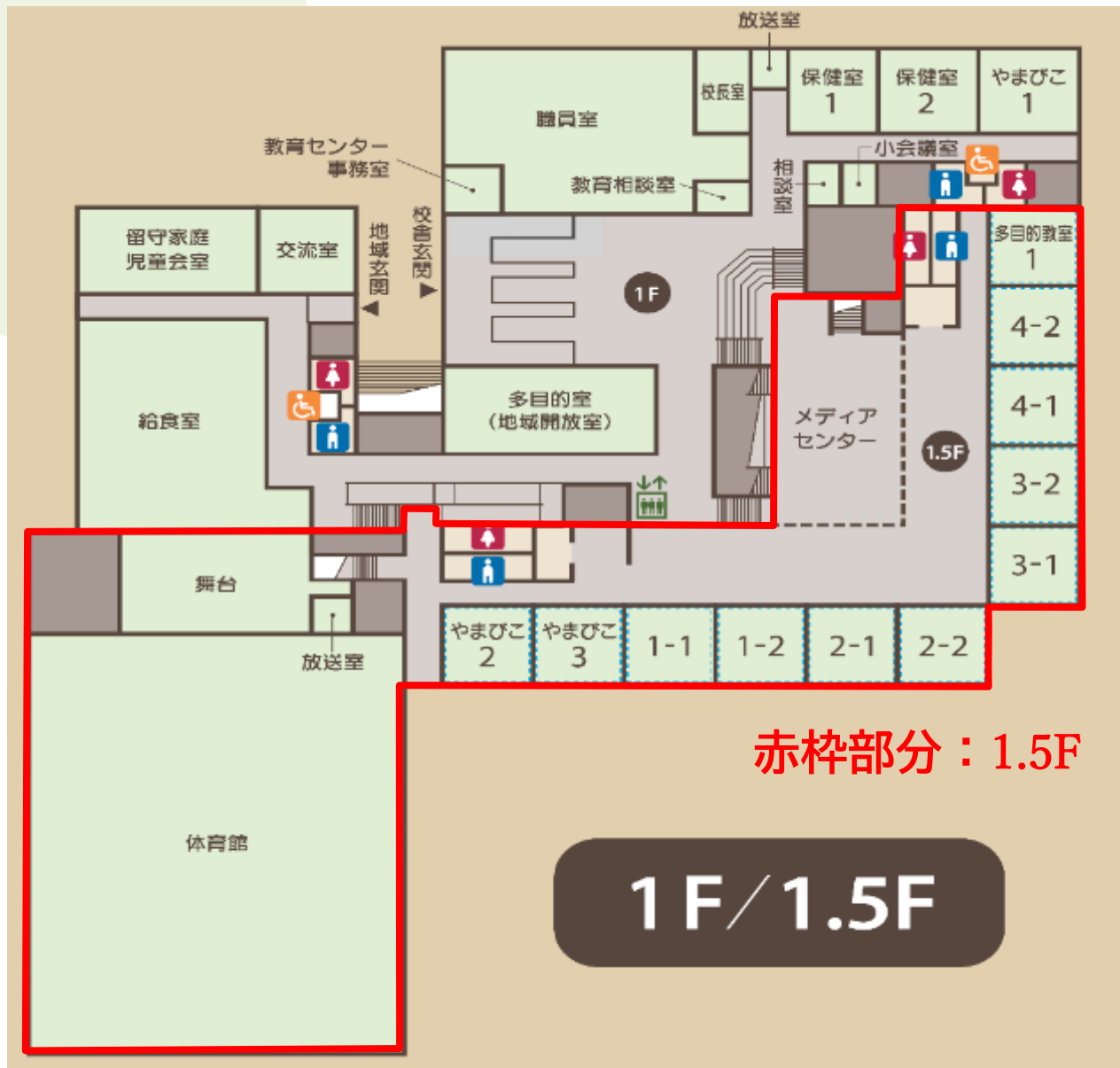
フロア	主な機能
1階	校長室、職員室、給食室、多目的室、保健室 留守家庭児童会室、支援教室(1室)、交流室
1.5階	1～4年生の普通教室(各学年2教室) 支援教室(2室)、多目的教室 1～2年生の教室の前には上靴のまま利用できる 遊具等を備えたテラスを設置。

低学年教室と連続するテラス





新校舎フロア図(1階、1.5階)





■ 新校舎レイアウト

フロア	主な機能
2階	理科室、音楽室、美術室、家庭科室、技術室 多目的ホール、多目的教室
2.5階	5～9年生の普通教室（各学年2教室） 支援教室（1）、多目的教室
その他	・全教室は、黒板ではなく、 ホワイトボードにプロジェクタを設置 ・教室の大きさは20人程度を想定した仕様である が間仕切りの拡張が可能 ・廊下が7.2mと広く、教室もセミクローズとし、 教室と一体的なワークスペースとして利用可能



■ 新校舎フロア図(2階、2.5階)





メディアセンター

- ・児童生徒の日常的な学びや交流の場として各諸室からアクセスしやすい学校の中心の共用スペースにオープンな形で配置。
- ・新聞・雑誌・書籍・インターネットなど多種多様なメディアが充実。
- ・ルーバーや柱まわりのベンチには「いずもく」を使用し、木のぬくもりに包まれた空間を創出。
- ・小中一貫校として、様々な学年の異学年交流の場を創出。





■ その他の主な諸室

普通教室



各教室には黒板ではなくホワイトボードを設置し、多様な学習活動に活用できるようにプロジェクターを常設。



教室の扉はセミクローズドとし、教室前に創作活動やグループ学習ができる広さのワークスペースを確保することで一体的な利用が可能。



その他の主な諸室

特別教室

2階に、理科室・美術室・技術室・家庭科室・音楽室を集約。



(家庭科室)



(理科室)



■ その他の主な諸室

支援教室



全体で4教室を確保し、1室は多様な児童生徒に対応できるよう保健室横に配置。

多目的ホール



発表会や軽運動、地域交流、イベントなど多様な用途で使用可能。
多様な学習活動に活用できるようスクリーン、プロジェクターを常設。



■ その他の主な諸室

多目的室（地域開放室）



地域開放室として、様々な目的に応じて利用可能。

圧迫感を感じないよう他の教室より天井の高さを確保。

体育館



東西方向にバスケットコート2面、南北方向に公式バスケットコート1面配置可能。

災害等による停電に備えプロパンガスを熱源とした自立発電運転機能を有するGHP空調を設置。



■ その他施設写真



(校舎屋上)



(校舎玄関)



(校舎全景)



■ 今後の予定

令和6年8月中旬頃より既存校舎の除却に着手
除却工事と並行しながら新グランド整備工事を実施
令和7年3月には工事完了予定
令和7年4月開校



外観パース



令和7年開校（仮称）和泉市立

榎尾学園説明会



令和6年8月